

# ハワイアン苔玉づくり

## ■シュガーパインの魅力

シュガーパインは、日当たりのよい環境を好むので、風通しのよい明るい日陰で育てるか、窓際などカーテン越しの明るい場所で育てましょう。育成には、25度前後の気温が適温です。シュガーパインは、0度以上の気温と霜よけをすれば、屋外でも冬越しができるほど丈夫な植物です。つる性なので樹形も整えやすく、インテリアとして壁や棚に飾るとおしゃれに。少し高い位置から愛らしい緑の葉を垂れ下げると、清潔感ある雰囲気を感じられます。



## ※管理のしかた

土の表面が乾いたらたっぷりと水を与えます。秋から冬にかけて、最低気温が20度を下回ってきたら、徐々に乾燥期間をのばしましょう。冬場は、土の表面が乾いて2~3日ほど経ってから水やりをするので十分。与えすぎると根腐れを起こしてしまいます。室内で育てるときは、鉢皿の水を捨てるようにしてください。また、冬越しのしかたとして苔玉のワイヤーを外して、そのまま土に植えてしまうのもよいです。シュガーパインの場合は冬場は屋内管理になりますが、鉢に植えた状態で冬を越し、春にまた取り出し苔玉にするのもよいでしょう。

## ※水遣りのポイント

水遣りは苔玉をネットから取り外し、水を張ったバケツなどに、そのまま5分程度浸けてください。水の中に苔玉を押し込むと、水圧で苔玉の中にあつた乾いた空気の玉が出てくると思います。空気が出るということは、水が土に浸透していないということなので、空気が出なくなるまで水に浸ける事がポイントです。



## ■素材

- ・シュガーパイン ・山苔・土(ケト土、赤玉)・チャームネット
- ・チャーム飾り(貝殻、ガラスなど) ・ゴールドワイヤー・テグス

Let's have fun!!

## ■作り方 手順

### Step1 土をこねます

水を少し加えながら、ケト土と赤玉を混ぜあわせる

### ※土のこねかた

土の状態がパサパサだと、土玉をつくれません。少量の水を加えながら、粘土状になるころまでこねて行きましょう。水分が多すぎても、ビチャビチャになってつくりにくくなってしまいますので、水の調整には気をつけましょう。

### Step2 植物の根の周りに土をつける

根を包むようにして、泥団子状にしていきます

### ※土のつけかた、

植物の根はとてもデリケートです。やさしく土で包み込むようにして、土をつけてあげましょう。また、全ての根を包み込んだら、おにぎりを握るようにして土を丸く固めましょう。

### Step3 苔を貼りつけます

土が見えなくなる状態まで苔を貼り付け、ワイヤーで固定

### ※ゴールドワイヤーでの苔の固定のしかた

まんべんなく全体に巻きましょう！苔は生きているので、腕に包帯を巻くときの力加減で、縦方向、横方向、又は斜め方向からも、やさしく、丁寧に巻いていきます。巻きつけたワイヤーの最後は、他のワイヤーに巻きつけて、完成させましょう！

### Step4 ネットに飾りつけをする

夏らしく貝殻などをテグスでネットに取り付ける

### ※貝殻のつけかた

穴のあいたところに、テグスを結びつけましょう。また、穴のない飾りはうまく結びつけましょう。(ポンド、ホットグルーなどで付けるのもOK！)

### Step5 チャームネットに苔玉を入れる

吊るして飾れば完成です！



complete

step 5